

“皆のベストフォトマネージャー(システム管理者編)”

■目次

“皆のベストフォトマネージャー(システム管理者編)”	1
Firebird のインストール	3
● “皆のベストフォトマネージャー” のインストール	3
● Firebird をインストールする	3
データベースファイルとユーザーを設定する	9
● データベースファイルを用意する	9
● SYSDBA のパスワードを変更する	11
● ユーザーを追加する	14
テーマと撮影者のリストを作成する	14
● テーマのリストを作成する	14
● 撮影者のリストを作成する	15
ファイアウォールの設定	16
● Windows ファイアウォール経由の通信を許可する	16
● プロトコルとローカルポートの設定	19
データのバックアップとリストア	19
● データをバックアップする	19
● データをリストアする	19
写真の元データをサーバーに保存する	20
● 写真の元データはどこへ保存するべきか	20
付録 データ構造	20

Firebird のインストール

●“皆のベストフォトマネージャー”のインストール

サーバーで“皆のベストフォトマネージャー”を実行する予定がなければ、“皆のベストフォトマネージャー”をサーバーにインストールする必要はありません。データベース管理システムの Firebird のインストールと、データベースファイルの設定やユーザーの登録等を行えば、サーバー側の設定は完了します。

しかし、“皆のベストフォトマネージャー”をサーバーにインストールすれば、Firebird のインストール用プログラムやユーザー管理プログラムもスタートメニューから実行できます。これらの設定が終わるまでの間だけでも、“皆のベストフォトマネージャー”をインストールしておく便利です。また、データベースファイルもサーバーにインストールされます。

以下、その前提で Firebird のインストール方法を説明します。インストール等の操作は管理者として実行します。

なお、“皆のベストフォトマネージャー”のインストール方法は、ユーザー編をご参照ください。

●Firebird をインストールする

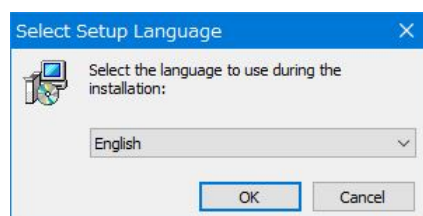
Firebird のインストールはサーバーで行ないます。

“皆のベストフォトマネージャー”をインストールすると、スタートメニューの「皆のベストフォトマネージャー」に「Firebird のインストール」が表示されます。次の手順で Firebird をインストールしてください。

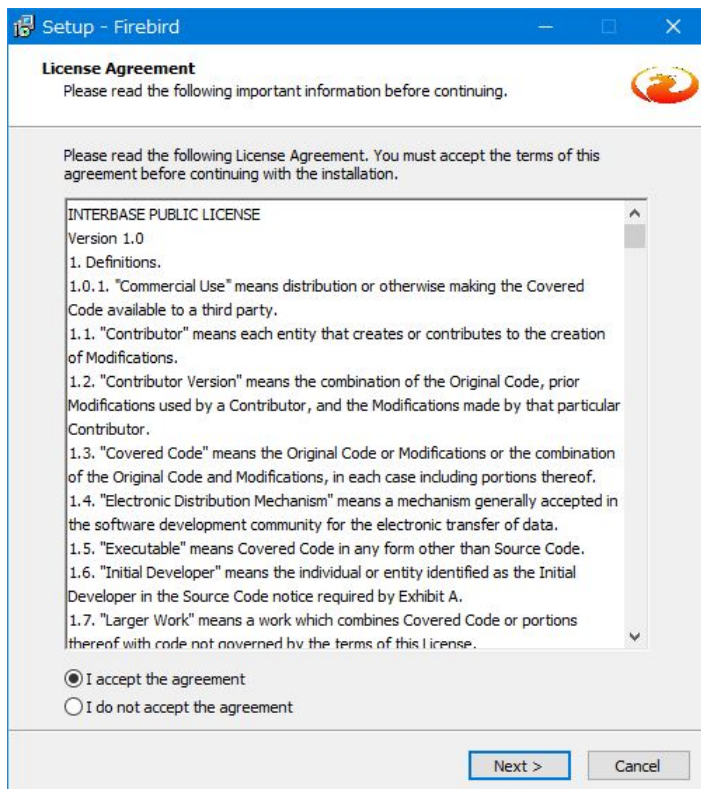
【操作手順】

①[スタートメニュー]→[皆のベストフォトマネージャー]→[Firebird のインストール]を実行する。

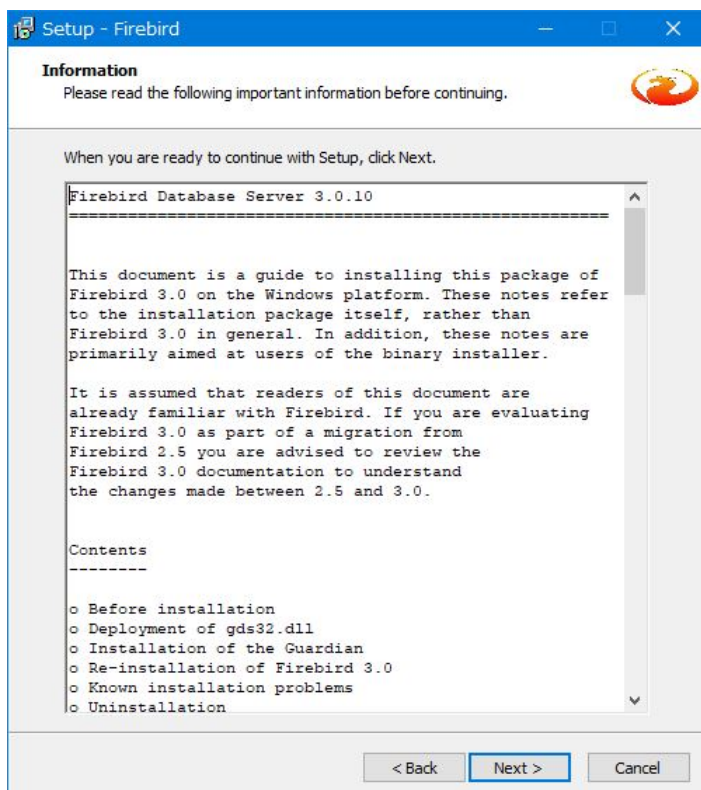
②[セットアップで使用する言語を選んでください。]ダイアログボックスが表示されるので、[OK]ボタンをクリックする。



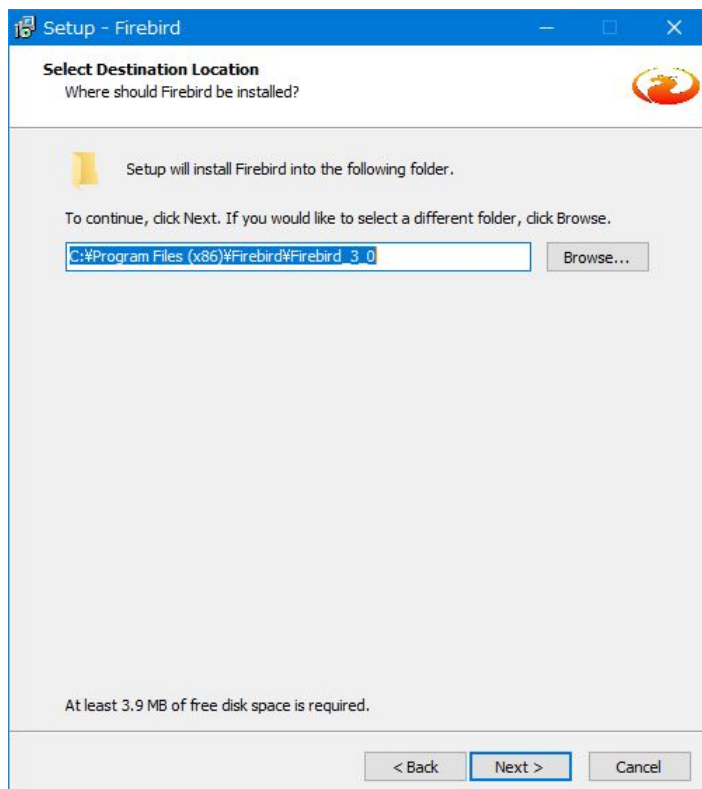
③「License Agreement」（使用許諾契約書の同意）ダイアログボックスが表示されるので、[I accept the agreement]オプションを選んで[Next]ボタンをクリックする。



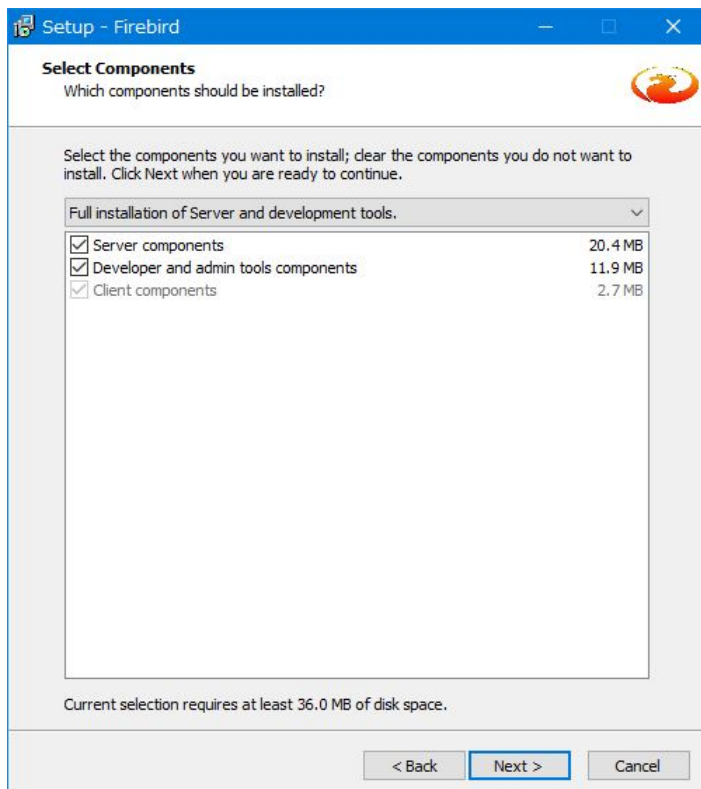
④次の[Setup - Firebird]ダイアログボックスが表示されるので、[Next]ボタンをクリックする。



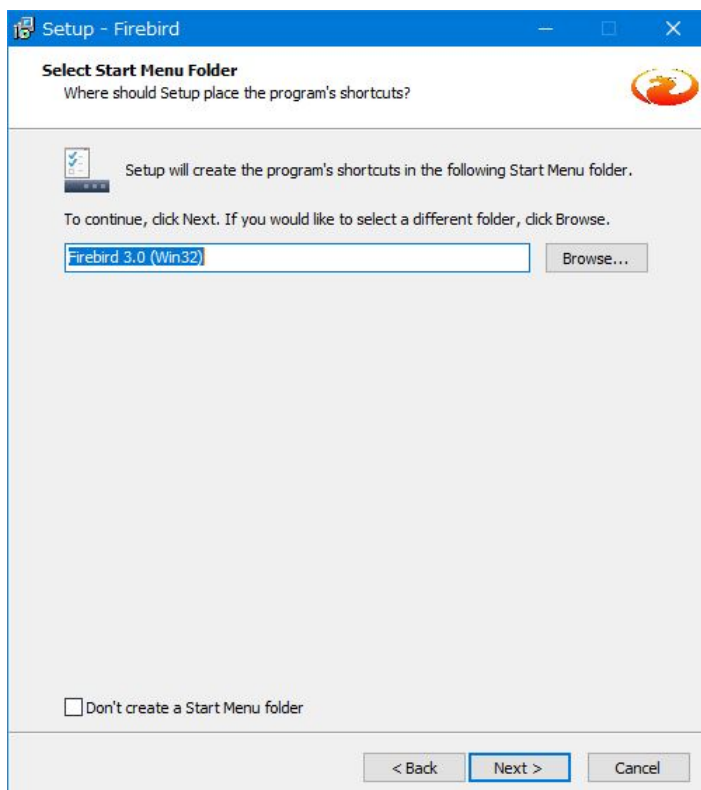
⑤ 「Select Destination Location」 (インストール先の指定) ダイアログボックスが表示されるので、変更する必要がなければ[Next]ボタンをクリックする。



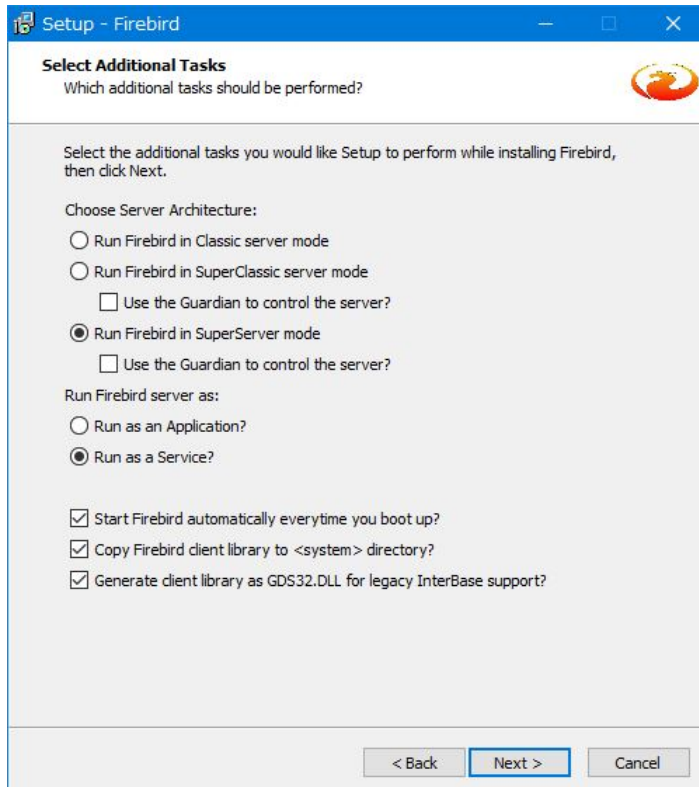
⑥ 「Select Components」 (コンポーネントの選択) ダイアログボックスが表示されるので、次のようにすべてのチェックボックスがチェックされていることを確認後、[Next]ボタンをクリックする。



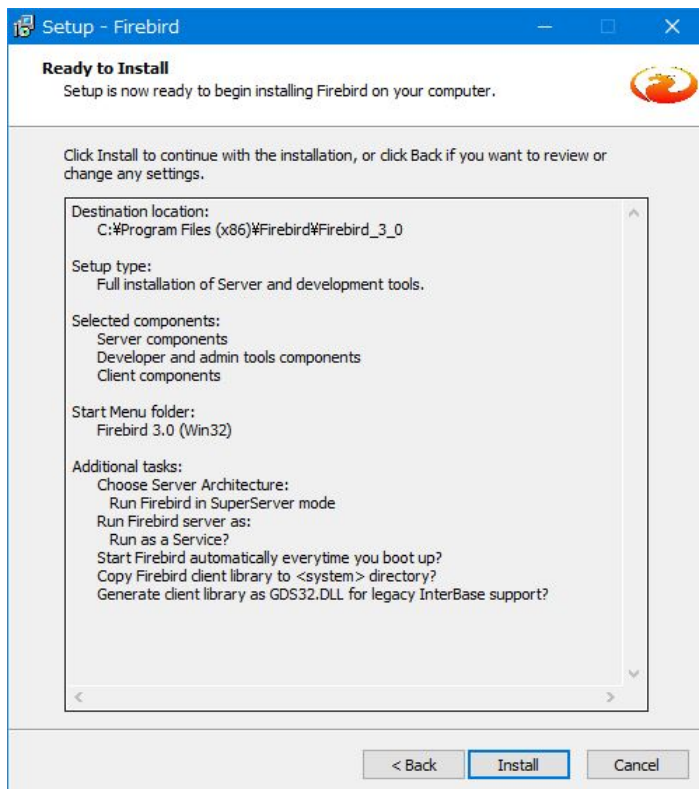
⑦ 「Select Start Menu Folder」（スタートメニューフォルダーの指定）ダイアログボックスが表示されるので、変更する必要がなければ**[Next]**ボタンをクリックする。



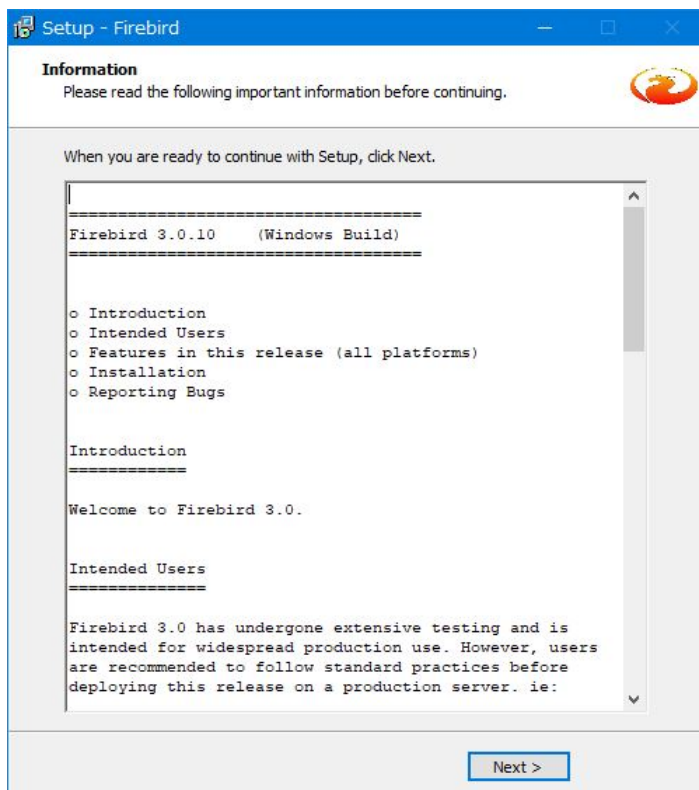
⑧ 「Select Additional Tasks」 (追加タスクの選択) ダイアログボックスが表示されるので、次のように「Run Firebird in SuperClassic server mode」オプションと「Run as a Service?」オプションが選択されていることを確認する。さらに「Generate client library as GDS32.DLL for legacy InterBase support?」チェックボックスにチェックを付け、**[Next]** ボタンをクリックする。



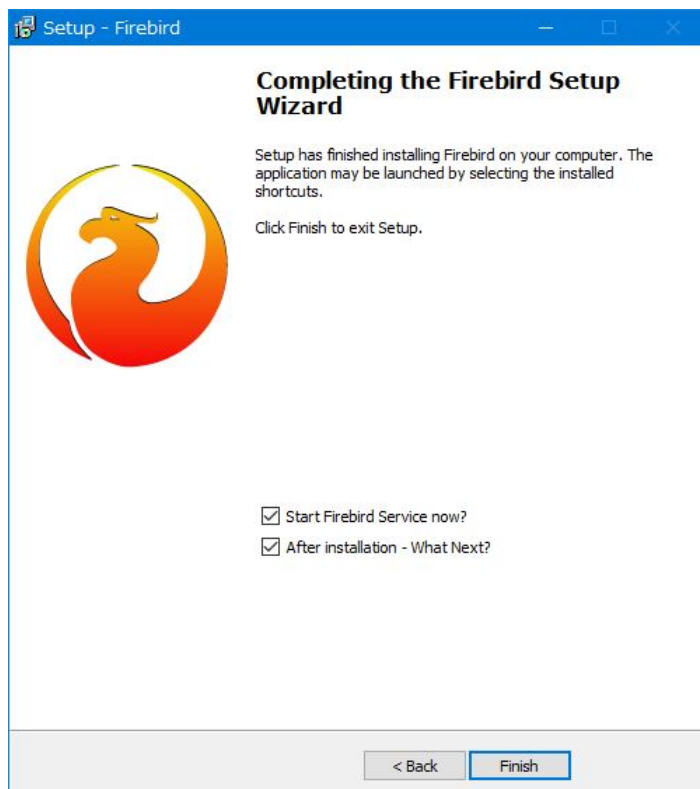
⑨ 「Ready to Install」 (インストール準備完了) ダイアログボックスが次のように表示されるので、**[Install]**ボタンをクリックする。



⑩ファイルのインストールが行なわれた後、次の「Information」（情報）ダイアログボックスが表示されるので、**[Next]**ボタンをクリックする。



⑪ 「Completing the Firebird Setup Wizard」 (Firebird セットアップウィザードの完了) ダイアログボックスが表示されるので、**[Start Firebird Service now?]** (Firebird サービスをただちに開始) チェックボックスがチェックされていることを確認後、**[Finish]** ボタンをクリックする。



以上の操作で Firebird のサーバーコンポーネントのインストールが完了し、Firebird がサービスとして開始されます。

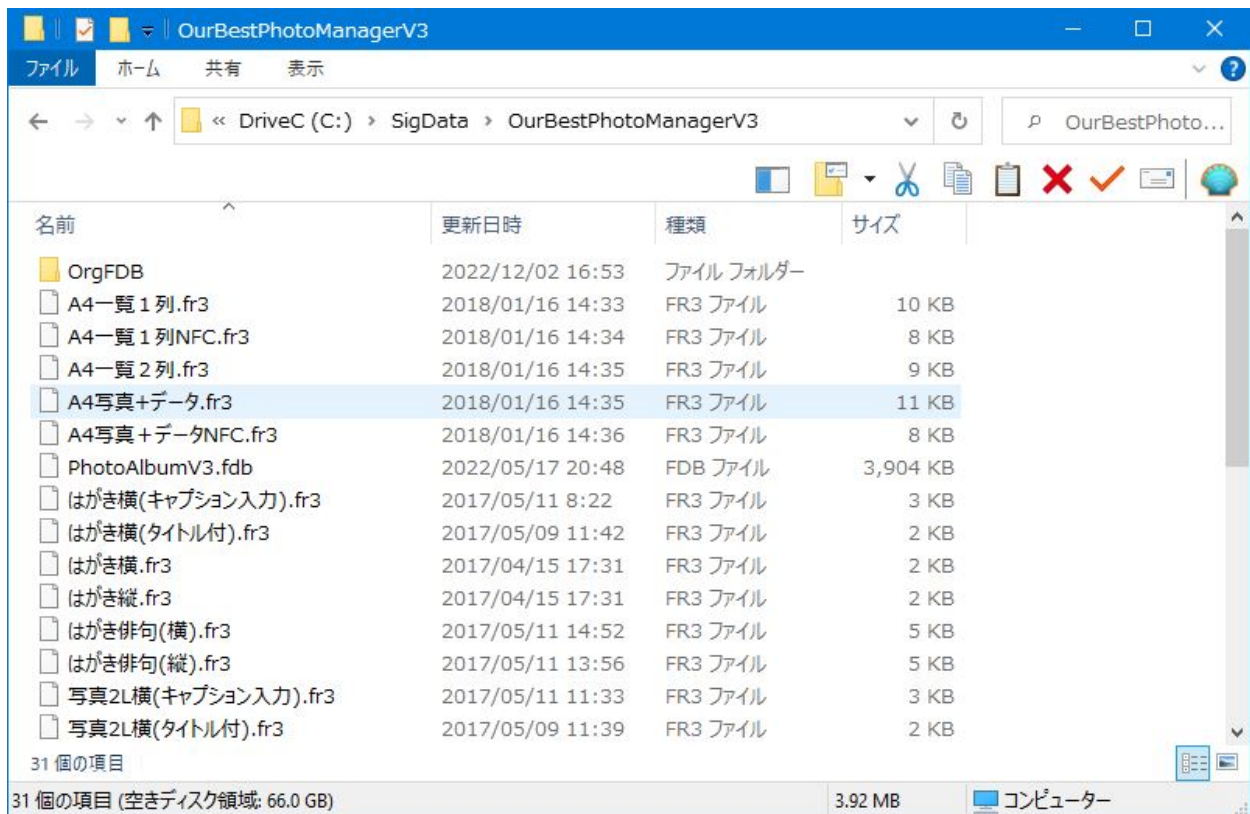
データベースファイルとユーザーを設定する

●データベースファイルを用意する

データベースファイルの用意は、サーバーで行ないます。

“皆のベストフォトマネージャー”をインストールすると、ドライブ C のルートディレクトリ直下に SigData フォルダが作成され、さらにその下に OurBestPhotoManagerV3 フォルダが作成されます。

このフォルダには、次の図のように拡張子が .fdb のデータベースファイルの他にレポートファイルも保存されます。



Firebird が使用するデータベースファイルは PhotoAlbumV3.fdb です。このファイルをそのままの位置で使うこともできますし、他のフォルダーにコピーして使うこともできます。

以下、ドライブ D のルートディレクトリに OurBestPhotoManager フォルダーを作成し、その中に PhotoAlbumV3.fdb をコピーする手順を紹介します。

【操作手順】

- ① エクスプローラを起動してドライブ D のルートディレクトリに OurBestPhotoManager フォルダーを作成する。
- ② C:¥SigData¥OurBestPhotoManagerV3 内の PhotoAlbumV3.fdb を右クリックして、ポップアップメニューから**[コピー]**を実行する。
- ③ D:¥OurBestPhotoManagerV3 フォルダーを開き、右クリック後、**[貼り付け]**を実行する。

上記の操作で、D:¥OurBestPhotoManager フォルダーに PhotoAlbumV3.fdb が作成されます。

このデータベースファイルのパス名とサーバー名が、“皆のベストフォトマネージャー”の各ユーザーに必要な情報となります。たとえば、サーバー名が NTSERVER の場合は、以下の 1 行を各クライアントに連絡しておきます。

NTSERVER:D:¥OurBestPhotoManager¥PhotoAlbumV3.fdb

●SYSDBA のパスワードを変更する

パスワードの変更は、クライアントの PC でも行なえます。

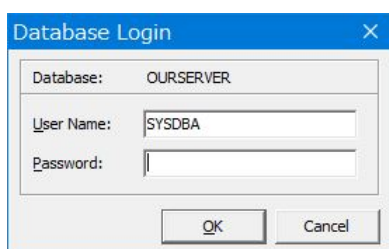
Firebird はデータベース管理システムであり、データベースへのアクセス権限はユーザー名とパスワードによって管理されます。インストール直後の Firebird には特権ユーザーである SYSDBA だけがデフォルトで登録されていて、かつ、SYSDBA のパスワードがデフォルトでは「masterkey」であることが周知されています。

Firebird をインストールしたら、SYSDBA のパスワードを変更することが推奨されています。パスワードを変更するには、**[皆のベストフォトマネージャー]→[皆のベストフォトマネージャー - ユーザー管理]**を使えます。

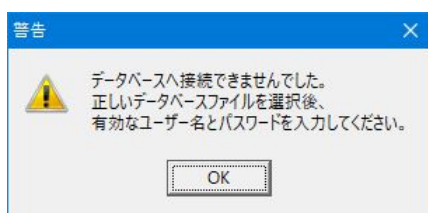
なお、Firebird のユーザー名は半角 31 文字以内、大文字と小文字の区別はされません。パスワードは半角 31 文字以内、先頭から 8 文字が有効で大文字小文字が区別されます。

【操作手順】

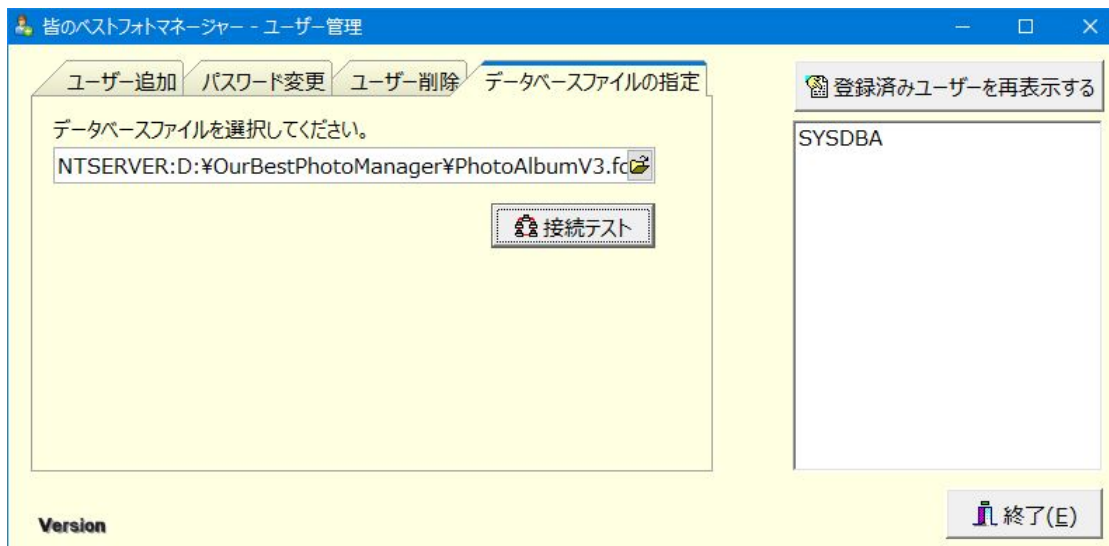
①**[皆のベストフォトマネージャー]→[皆のベストフォトマネージャー - ユーザー管理]**を実行する。次の**[データベースへのログイン]**ダイアログボックスが表示される。



②まだ、正しいデータベース名（ここでは NTSERVER と仮定する）が設定されていないので、**[キャンセル]**ボタンを 3 回、クリックする。次の**[警告]**ダイアログボックスが表示される。



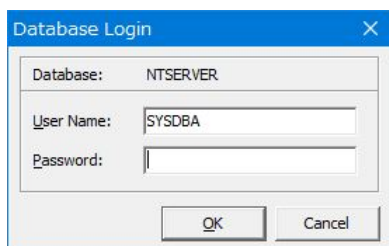
③**[OK]**ボタンをクリックすると、次の**[皆のベストフォトマネージャー - ユーザー管理]**ダイアログボックスが表示されるので、**[データベースファイルの指定]**タブページが開かれていることを確認する。



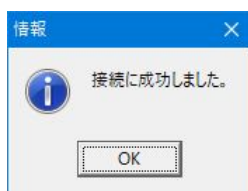
入力ボックスに「サーバー名:ドライブ名:¥パス名 ¥ファイル名」の形式でデータベースファイルを指定する。ここでは前述の内容を入力後、**[接続テスト]**ボタンをクリックする。

NTSERVER:D:¥OurBestPhotoManager¥PhotoAlbumV3.fdb

④次の**[データベースへのログイン]**ダイアログボックスが再び表示される。ただし、接続先となるデータベース名は前記のサーバー名に変更されている。



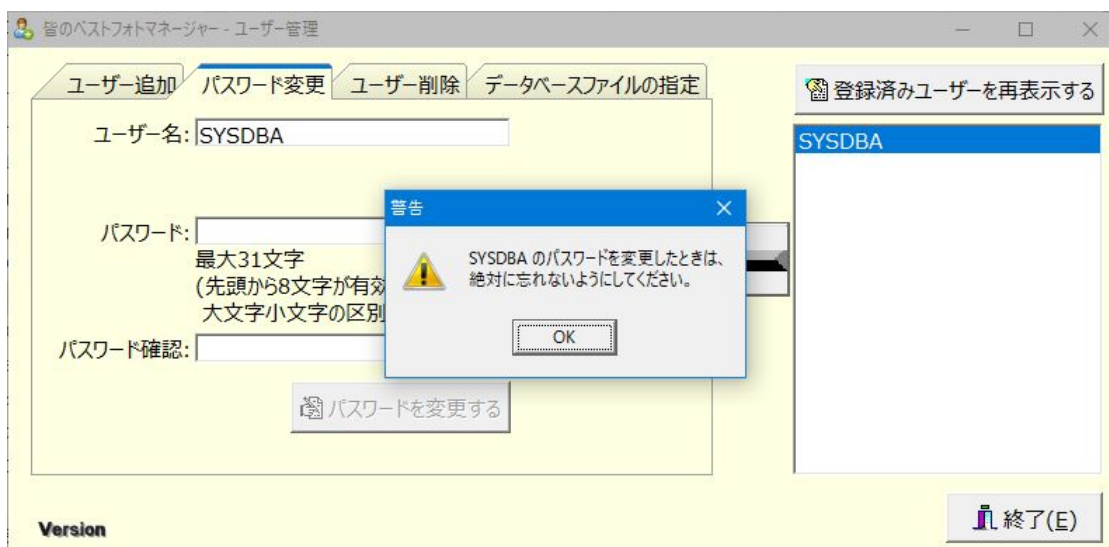
⑤パスワード入力ボックスに「masterkey」と入力して**[OK]**ボタンをクリックする。接続できると次のように**[情報]**ダイアログボックスが表示される。



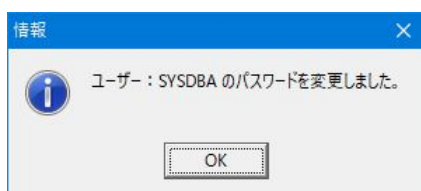
⑥**[情報]**ダイアログボックスの**[OK]**ボタンをクリックすると、次のように登録済みのユーザーが表示される。まだ他のユーザーを登録していないため、「SYSDBA」のみが表示されている。



⑦[皆のベストフォトマネージャー - ユーザー管理]ダイアログボックスの[パスワード変更]タブページを開き、右側のパネルから「SYSDBA」を選択後、[←]ボタンをクリックすると、[ユーザー名]入力ボックスに「SYSDBA」と転記され、同時に変更したパスワードを忘れないようにとの[警告]ダイアログボックスが表示される。



⑧[パスワード]入力ボックスと[パスワード確認]入力ボックスに新しいパスワードを入力後、[パスワードを変更する]ボタンをクリックすると、次の[情報]ダイアログボックスが表示される。



以上の操作で、SYSDBA のパスワードが変更されました。変更後のパスワードは絶対に忘れないようにしてください。忘れた場合、Firebird の再インストールが必要になることがあります。

●ユーザーを追加する

ユーザーの追加は、クライアント PC でも行なえます。

管理者以外の“皆のベストフォトマネージャー”ユーザーには、それぞれのユーザー名と仮パスワードを設定して連絡します。

ユーザーの追加と削除は、SYSDBA のみが行なえます。SYSDBA 以外のユーザーは、自分のパスワードの変更と、データベースファイルの指定のみが行なえます。

ユーザーを追加するには、[ユーザー名]入力ボックスに新しいユーザー名、[パスワード]入力ボックスと[パスワード確認]入力ボックスに仮パスワードを入力後、[ユーザーの追加]ボタンをクリックします。

皆のベストフォトマネージャー - ユーザー管理

ユーザー追加 | パスワード変更 | ユーザー削除 | データベースファイルの指定

登録済みユーザーを再表示する

ユーザー名: CATHIRO
最大31文字まで
(大文字小文字の区別なし)

パスワード: *****
最大31文字
(先頭から8文字が有効
大文字小文字の区別あり)

パスワード確認: *****

+ ユーザーの追加

(SYSDBA権限を有するユーザーのみが新しいユーザーを正常に追加できます。)

SYSDBA

終了(E)

Version

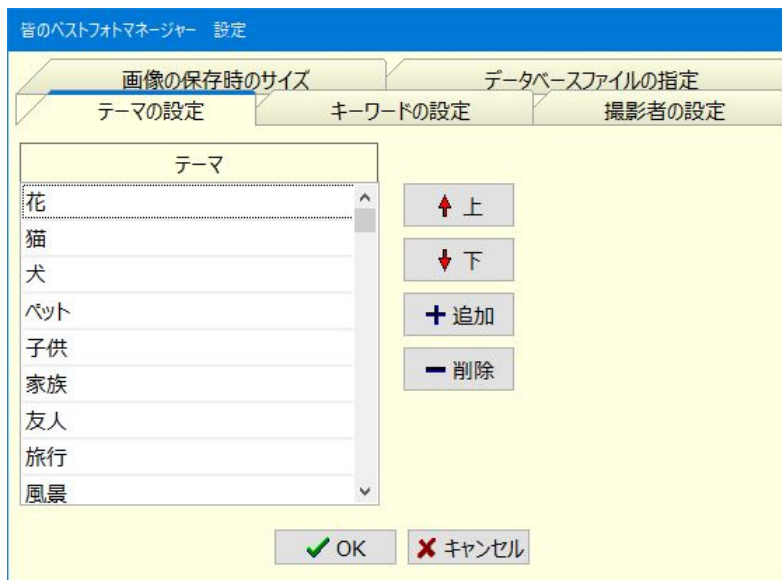
ユーザーが追加されると、登録済みユーザーのリストが更新されます。

テーマと撮影者のリストを作成する

●テーマのリストを作成する

テーマの作成は、クライアント PC でも行なえます。

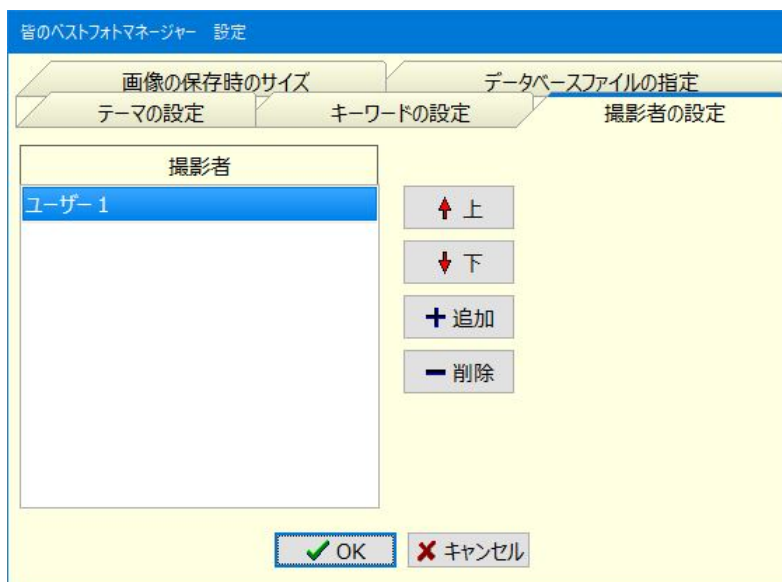
テーマの作成は、SYSDBA のみが行なえます。“皆のベストフォトマネージャー”を SYSDBA で起動してデータベースに接続後、[設定]→[皆のベストフォトマネージャー設定]で次のように[テーマの設定]タブページを開きます。



初期値として「花、猫、犬……」が入力されていますが、適宜、修正してお使いください。ここで作成したリストは、カード形式や検索用の[テーマ]ドロップダウンリストに表示されません。

● 撮影者のリストを作成する

[皆のベストフォトマネージャー設定]ダイアログボックスで[撮影者の設定]タブページを開くと、次のように撮影者のリストを作成することができます。



ここで作成したリストは、カード形式の[撮影者]ドロップダウンリストに表示されます。

ファイアウォールの設定

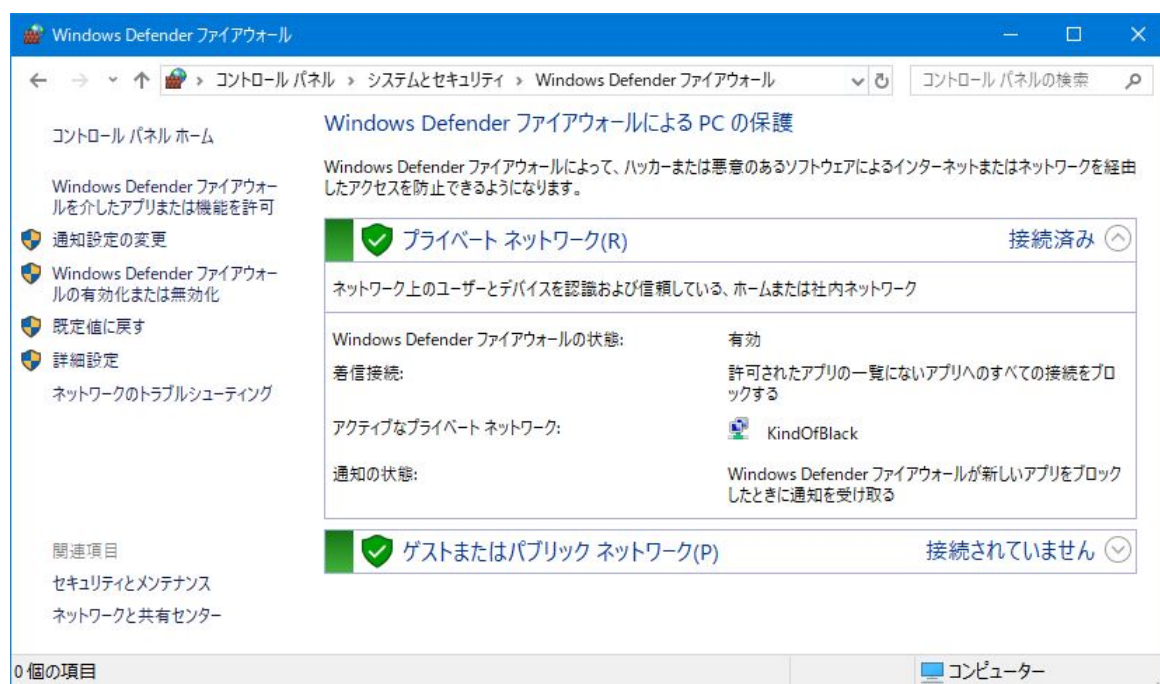
●Windows ファイアウォール経由の通信を許可する

Firebird サーバーをインストールしただけでは、クライアントの PC からサーバーのデータを見ることはできません。ファイアウォールによってネットワーク経由でのアクセスを拒否しているからです。

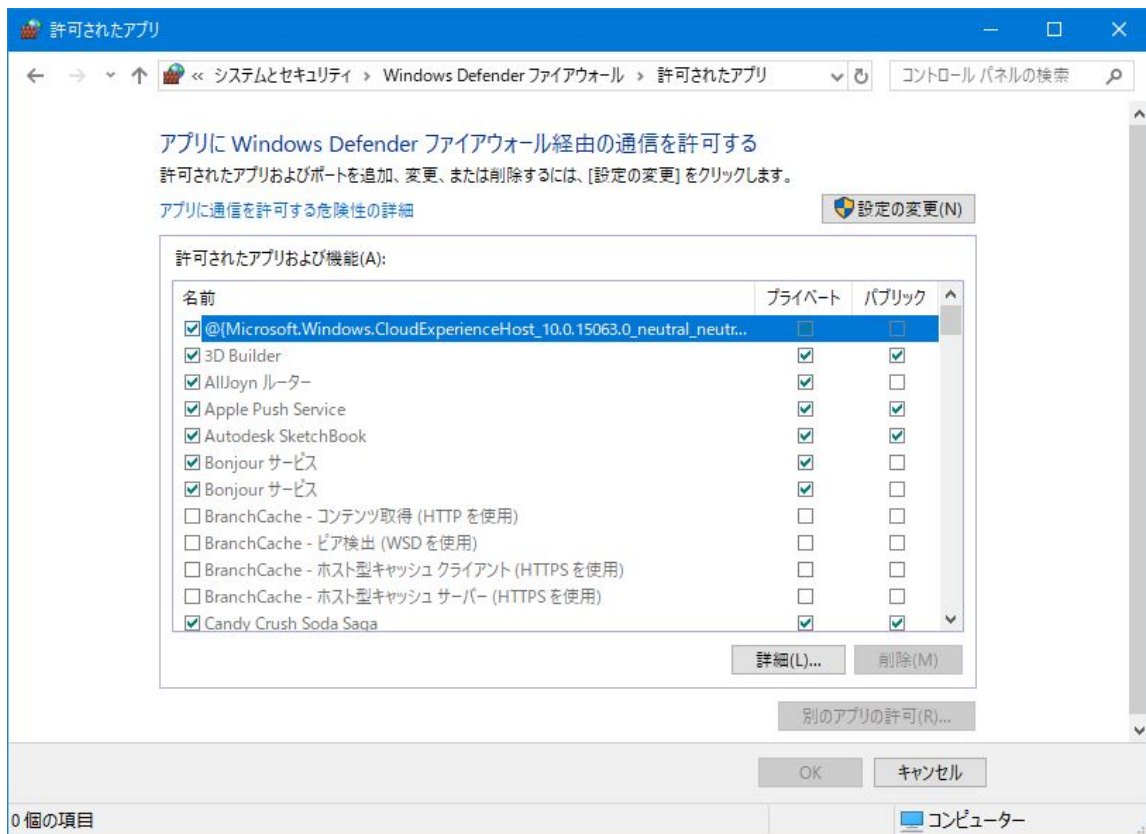
サーバーの OS はさまざまですので、ここでは Windows 10 を一例として操作手順を説明します。

【操作手順】

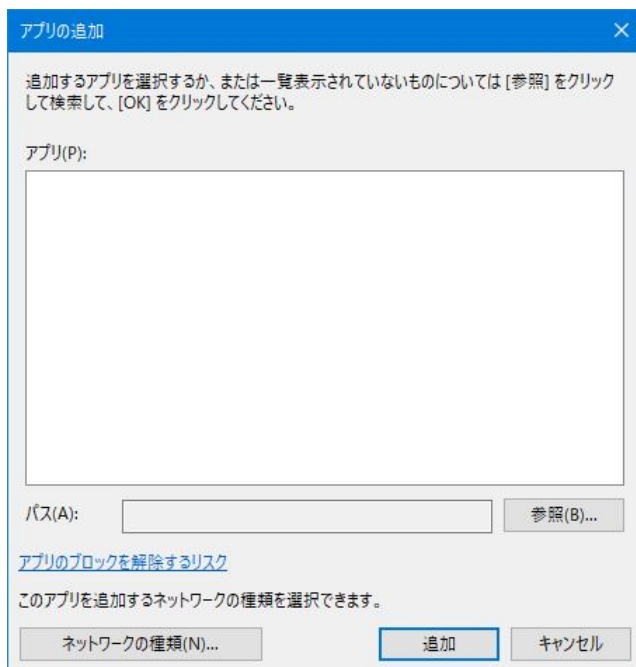
①[Windows システムツール]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windows ファイアウォール]を実行する。次の[Windows ファイアウォール]ダイアログボックスが表示される。



②左上の[Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可]を実行する。次の[許可されたアプリ]ダイアログボックスが表示される。

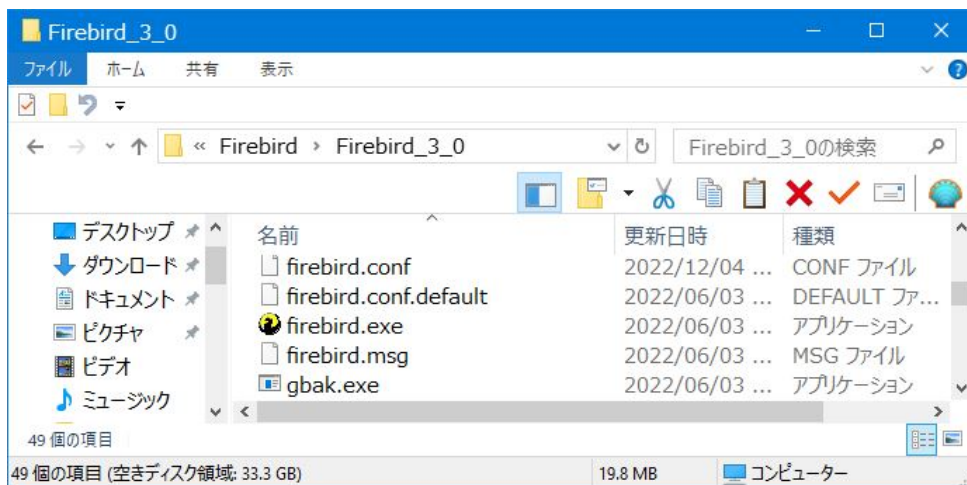


③右上の[設定の変更]ボタンをクリックすると、右下の[別のアプリを許可]ボタンが有効になるのでクリックする。次の[アプリの追加]ダイアログボックスが表示される。

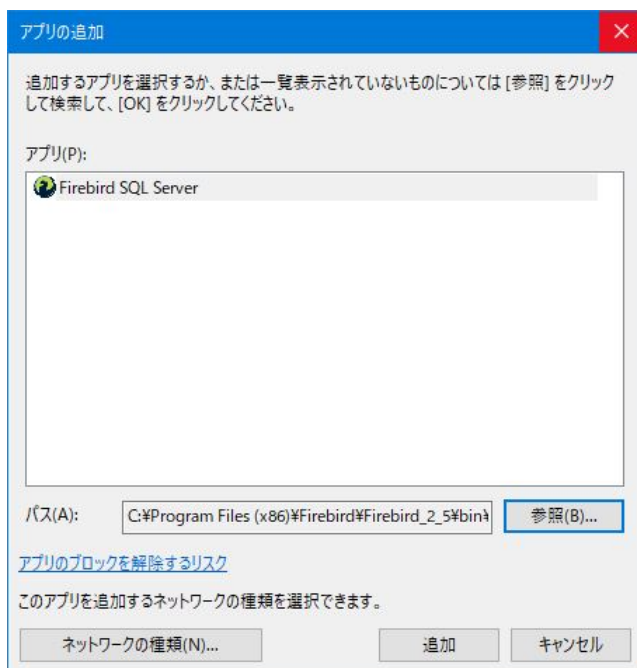


④[パス]入力ボックス右の[参照]ボタンをクリックすると、[参照]ダイアログボックスが表示されるので、次の図のように「fbserver.exe」を選択して[開く]ボタンをクリックする。

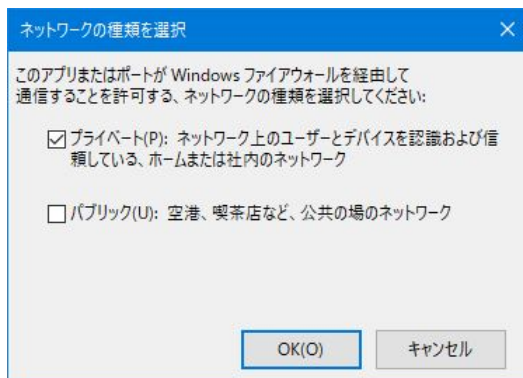
通常、C:\Program Files (x86)\Firebird\Firebird_3_0 に firebird.exe がインストールされている。



⑤再び[アプリの追加]ダイアログボックスに戻り、次のように一覧に「Firebird SQL Server」と表示される。



⑥左下の[ネットワークの種類]ボタンをクリックして、次の図のように「プライベート」だけが選択されていることを確認後、[OK]ボタンをクリックする。



⑦再び[アプリの追加]ダイアログボックスに戻るので、右下の[追加]ボタンをクリックする。

⑧[許可されたアプリ]ダイアログボックスに戻るので、「許可されたアプリおよび機能」のリストに「Firebird SQL Server」と表示され、同時にチェックボックスもチェックされていることを確認後、[OK]ボタンをクリックする。

⑨[Windows Defender ファイアウォール]ダイアログボックスに戻るので、タイトルバー右端の[×(閉じる)]ボタンをクリックする。

以上の操作で、クライアントの PC からサーバーの Firebird のデータへアクセスできるようになります。

●プロトコルとローカルポートの設定

サーバーの OS が違う場合、Firebird の使用するプロトコルやローカルポートの設定が必要になることがあります。プロトコルは「TCP」、ローカルポートは「3050」を設定してください。

データのバックアップとリストア

●データをバックアップする

“皆のベストフォトマネージャー”の全データは、拡張子が fdb の PhotoAlbumV3.fdb に保存されています。この PhotoAlbumV3.fdb ファイルを定期的に他のフォルダやドライブにコピーするだけでデータのバックアップを行なえます。

●データをリストアする

“皆のベストフォトマネージャー”の全データは PhotoAlbumV3.fdb ファイル 1 本に保存されています。データのリストアも、バックアップで保存した PhotoAlbumV3.fdb ファイルを使用中のデータベースファイルの保存先に上書きコピーするだけです。

なお、“皆のベストフォトマネージャー”をクライアント PC が実行中のときには上書きコピーできません。必ず終了してからリストアしてください。

写真の元データをサーバーに保存する

●写真の元データはどこへ保存するべきか

“皆のベストフォトマネージャー”では、カード形式や一覧表に表示される画像は、元データから作成したサムネイル画像です。この画像データは、データベースファイルに保存されていて、元データがどこに保存されているかとは関連しません。

写真を読み込んだとき、元データの保存先とファイル名が記録されます。この元データの保存先が登録者のクライアント PC の場合、その保存先が共有設定されていなければ、他のクライアントからはアクセスできず、**[元データ]**ボタンをクリックしても**[警告]**ダイアログボックスが表示され、「ファイルがありません。」とのメッセージが表示されます。

すべてのクライアント PC から元データを読み込めるようにしたいときは、各クライアントの写真データの保存先フォルダーを共有設定するのではなく、サーバーに共有フォルダーを設定すべきでしょう。

そのフォルダに各クライアントごとにサブフォルダーを作成し、個々にアクセス権を設定すれば、それぞれのデータの保護も行なえます。

どのように運用するかは、“皆のベストフォトマネージャー”の使い方次第です。システム管理者が中心となって決めるといいでしょう。共有についての共通のルールが必要ということです。

付録 データ構造

項目名	データタイプ	サイズ
テーマ	文字列	80桁
キーワード	文字列	80桁
タイトル	文字列	80桁
撮影日	タイムスタンプ	
撮影者	文字列	80桁
撮影地	文字列	80桁
メーカー名	文字列	80桁
機種名	文字列	80桁
保存先	文字列	256桁
ファイル名	文字列	80桁
撮影要旨	テキスト	
画像	グラフィック	

応募先	文字列	80桁
応募テーマ	文字列	80桁
応募タイトル	文字列	80桁
締め切り日	日付	
応募日	日付	
備考	テキスト	

※インデックス 撮影日 昇順